

## 会 議 録

会議名称	第5回 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会
日 時	令和元年5月18日（土） 13：30～15：40
会 場	豊岡市役所 大会議室（2階）
出席者	〔委員〕 藤野委員長、田村副委員長、杉山委員、碓井委員、平岡委員、赤澤委員、樋口委員、與田委員、木村委員、宮下委員、大西委員、平田委員 〔事務局〕 桑井地域コミュニティ振興部参事、櫻田新文化会館整備推進室長、米田文化振興課長、田中係長 (株)シアターワークショップ 伊東、佐藤、東、阿武
欠席者	なし
議題等	1 開会（あいさつ） 2 前回委員会のまとめ 3 協議事項 （1）基本計画策定までのスケジュール（案）について （2）第1回ワークショップの結果について （3）「施設構成および規模」について （4）「建設候補地」について （5）その他 4 その他 5 閉会
会議資料	・豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会次第 ・豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会（第5回）資料 ・豊岡市新文化会館建設予定地の選定候補用地比較一覧
次回会議	令和元年7月23日（火）

〈審議結果は次のとおり〉

## 1 開 会（あいさつ）〔藤野委員長〕

ドイツからプロの合唱団を呼んで全国ツアーを開催した。全国それぞれのホールのスペックや運営方法の違いを実感した。都市規模にあった客席数を考えることの重要性を感じた。また、最初から大きいホールを作ってしまうと、来場者が少ない公演など、年間通じた公演の中で出演者と客両方に満足感をもたらすのが難しいことを実感した。ホールのキャパシティだけでなく、どのような市民交流スペースを設けるかも重要であると感じた。新文化会館も、特にコンテンツについては、日本全国に発信できるようなものにしていきたいと思う。

委員長権限で、今日の議事の中に市有地の中から建設候補地を提案してもらうように市事務局へ依頼した。敷地については、基本計画の中で最も重要な課題となる。今日は、敷地について慎重な審議を重ねたい。

## 2 前回委員会のまとめ

第4回策定委員会において、委員から出された意見等の確認

## 3 協議事項

### (1) 基本計画策定までのスケジュール（案）について

- 基本計画策定までのスケジュール（案）について、資料に沿って説明

### (2) 市民ワークショップの結果について

- 第1回市民ワークショップの結果について報告

#### 【質疑応答・意見交換】

発言者	意 見 等
委員 事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークショップの参加者が14名で少ないということだが、どこと比較して少ないのか。例えば、応募の仕方を変えればよくなるのか。</li><li>・多い都市だと100人程度集まる場所もあるが、全体の進行を司るには30人程度がやりやすい。それに対しての半数なので、少し寂しい。半強制的に人を集めている場所も多いが、豊岡はそれほど強制的ではない。高校生にも声掛けをしているが、特に吹奏楽をやっているような学生は忙しく、集まりにくい。人を集めるだけでなく、我々が高校に行って意見を集めることも考える必要がある。</li></ul>

### (3) 「施設構成および規模」について

- 「施設構成および規模」の検討について、資料に沿って説明

#### 【質疑応答・意見交換】

発言者	意 見 等
委員 事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"><li>・6,000㎡で45億という面積・金額は絶対なのか。</li><li>・平米単価75万円で計算した時の一つの目安であり、45億というのはコンプライトした数値ではない。厳しい財政状況ではあるが、豊岡市の身の丈に合った良い施設をつくるために、何が必要で何が不要でないかを検討してほしい。金額はその結果として決まるもの。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・岐阜のサラマンカホールは舞台が大きく音響も良いが、アクセスがあまり良くない。アクセスは重要。みなとみらいホールでは、1日5回公演を行った。昔小学校では2回回しの公演を行っていた。そのようなコンセプトもよいのではないか。</li></ul>

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ホールの参考事例としては、オペラシティのリサイタルホールがある。ここでは椅子を置いて公演を行っており、舞台を自分で作れたり、お客さんが少なければ椅子を少なくしたりすることが可能。そのような使い方がよいのではないか。なお、色々な使い方をするためには、部屋の大きさや天井の高さが必要。施設の中のコンセプトを詰めていくことが重要。</li> </ul>
<p>事務局 (TWS)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市民館（以下、茅野）では、ランニングコストはどのくらいかかっているのか。席が可動式とのことだが、どれほど重労働なのか。</li> <li>・由利本荘市文化交流館カダーレ（以下、カダーレ）では、日本に合った、お祭りのような賑わいの空間を作ろうとしていて面白い。</li> <li>・尼崎市のアルカニックホール・オクトは80年代につくられた多目的ホールだが、芝居をやる際など、舞台機構を多目的に対応させることが難しい。</li> <li>・茅野やカダーレのようなタイプに舵を取ってよいのか。</li> <li>・茅野は複合文化施設で、ホールが美術館としても使用できるため、それぞれの施設を持つよりもコストが安く済んでいる。オープニングイベントでクラブイベントを開催するなど、今街で頑張っている若い年齢層向けのイベントができるようになったのが利点。客席を可変して使用するのには、全体公演数のおよそ半数程度ときく。エアキャスターというシステムで座席を動かすことができるため、短時間でレイアウトが変更できる。</li> <li>・カダーレは2階が固定席で、客席が可動するのは1階席のみ。茅野よりも劇場っぽいつくりである。舞台機構が複雑だと、地元の方だけでは使用するのが難しい。よりクリエイティブに使用してほしいと思い、弊社も運営に関わっている。</li> </ul>
<p>委員長 事務局 (TWS)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的にどのくらいの運営経費なのか。</li> <li>・カダーレは1億円ちょっと。茅野も同じくらい。指定管理者制度の利用料金を収入に運営している。正確な額は次回示したい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡市の図書館で、中庭で本を読む人や高校生が集まっている光景に引き込まれた。創造活動スペースや市民交流スペースが中庭のような開かれた空間に向いているとよいのではないか。大ホールや多目的ホールは、専門職大学との関わりも考慮して、どのような用途に割り振るのがよいか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職大学は人事が固まり、秋には申請、来年の夏に認可、2021年4月にオープン予定。大学内に150～200人規模の小ホールを設ける。市民プラザがあることや、江原の旧商工会館を小劇場に改修することなども考えると、市内に演劇系の小ホールは充分。新文化会館には、本格的な音楽、ダンス、バレエを目的の一つに入れた方がよいのではないか。専門職大学の教員の公演を学生に見せられるようなホールや、国際的な演劇祭のメイン会場として対応できるようなホールである必要がある。</li> <li>・また、将来的なICT化を想定し、それに対応できるようにすることも重要である。例えば、チケットシステムとしてリストバンドなどを用いてICT化するなど。</li> <li>・活発な活動を行うことで助成金を獲得できるような、コンテンツで勝負できる施設にすることが重要。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーンでは、椅子を全て取り去りオーパンバルやダンスを行う劇場がある。茅野は駅の改札と直結していて非常に使いやすい。メインホールが可変である一方、小ホールは固定席で非常に音響が良い。豊岡</li> </ul>

委員長 事務局 (TWS)	<p>でも音響を充実させれば、そうした両立も可能なのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜のテアトルフォンテは、音響があまり良くなく使いにくいいため、稼働率が低下しているときく。音響と舞台の広さをしっかり考慮すれば、様々な使いまわしが可能なのではないか。</li> <li>・茅野のメインホールの音響は良いのか。</li> <li>・音響設計は永田音響設計。音が抜けてしまう部分があるため、永田音響としては不本意なこともあったが、800席規模であるため音は作りやすかったとのこと。音が悪いという評判は聞いていない。</li> </ul>
---------------------	--

#### (4) 「建設候補地」について

○ 「建設候補地」の比較検討および提案について、資料に沿って説明

##### 【質疑応答・意見交換】

発言者	意見等
委員 事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1の土地は良いと思うが、現市民会館の跡地はどうなるのか。駐車場は広いようで実際は広くない。その点はどうか。</li> <li>・跡地はどのような土地利用をするか今後検討していく。例えば跡地に駐車場を設けるとして、職員駐車場や周辺の有料市営駐車場等を合わせて、休日であれば最大1100台は確保できる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1の土地が最も良いと思う。海外では、駐車場の概念が変わってきている。開館する頃には大幅に交通体系が変わり、1100台規模の駐車場はいらなくなっているのではないか。</li> </ul>
委員 事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館は築何年か。体育館の建て替えの時期が来ていないか。また、スポーツ・文化芸術の空間として連動してつくれるのではないか。</li> <li>・総合体育館は昭和63年建築で30年ちょっと経っている。体育館の建て替えについては本検討とは別に切り離して検討している。</li> </ul>
委員長 事務局 (TWS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1の敷地が細長い形で、プロセニウム形式の場合、舞台袖をとれないのではないか。敷地を踏まえて、席数などを決める必要がある。</li> <li>・資料2の27ページのホールタイプのタイプ1で、舞台はぎりぎり入る。仮に現市民会館を検討敷地に収まるかシミュレーションしたところ、収めることはできた。</li> <li>・問題は、現市民会館の舞台袖の大きさで足りているのか、ということである。表側と裏側を繋ぐ動線や、楽屋や会議室などの配置をどうするかなどは検討が必要。席数を多くするには、検討敷地においては、幅を広げるのではなく奥行を長くすることでスペースを確保することになる。敷地を活かした設計が必要。</li> </ul>
委員 委員長 事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真ん中に中庭を設けるのはどうか。公園を潰すのはもったいない。</li> <li>・南中学校の進入路の変更など、難しいのか。</li> <li>・協議の価値はあると個人的には感じるが、難しい。</li> </ul>
副委員長 事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設にあたり雪の問題がある。だいたい大雪が年3回。外階段や石段をつくると、除雪が大変。除雪のプロが入るか、貯める場所をどうするかなど、設計時に機能や安全面の検討が必要。</li> <li>・現市民会館でも外階段の除雪が大変なのは、よく理解している。逐次チェックしながら進める。</li> </ul>
委員 事務局 (市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下の動線があると便利。治水の観点から助成金を獲得し、地下2・3階の駐車場を設けることはできないか。</li> <li>・豊岡は地盤が良くないため、地下につくっても水が溜まって活用できないのではないかと思う。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館の駐車場の土地（資料3の航空写真右側の部分）は、使えないのか。体育館と駐車場を共有するなど。駐車場は将来的にどうなるかわからない。ヨーロッパでは、小さい劇場に人を集めて、そこから主要都市まで無料でバスを出している。そのバスを自動運転にすることも考えられる。駐車場の需要は今ほどないのではないか。</li> </ul>
----	--

(5) その他

【質疑応答・意見交換】

発言者	意見等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホールのスペック、席数、配置までは詰められなかった。市から提案のあった建設候補地のNo.1を踏まえてシアターワークショップに図を描いてもらい、次回の委員会で議論できれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料2の25ページのホールタイプについては、各委員に意見を聞いてもよいのではないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員一人ずつ、どのタイプが良いかとその理由を。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ1。客席数にはこだわりたい。お客さんが入らない時でも出演者に見えないような工夫ができれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ3。音響が良い事は大前提。新しい試みをやりやすい方が良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ3。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。大ホールと小ホールのどちらかが可動席ならば、一方は固定席が良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。特に子供たちには、きちんとした客席でバレエやクラシックコンサートをみせることが必要。タイプ3については、豊岡の規模で必要なものは揃っている。タイプ2は、もちろんたくさんのお客さんが入ればよいが、入らなかった場合の演者のモチベーションのことだけではなく、建設コストや、空調などのランニングコストがかかるため、できるだけ客席数は少ない方が良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。1,000席だとコストがかかるから。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ1。中核施設となるためには、1,000席必要なのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。タイプ3はとんがっていて面白いが、タイプ2はホールの質を設計段階で活かせるのではないか。タイプ1との違いは、タイプ2の方が市民活動の場所を充実させられるから。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。一番良いのはタイプ2とタイプ3のハイブリッド。バックヤードを充実させればタイプ3の意味合いも持たせられ、両方のニーズに応えられるのではないか。一番重要なのは音響。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。質が良いと一流の人を呼びやすい。タイプ1は、人口減少という背景や、大きいことによって市民が使いづらくなることを踏まえると良くない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイプ2。</li> </ul>

4 その他〔事務局〕

次回の委員会を令和元年7月23日(火)午後1時30分から市役所3階の庁議室で開催

5 閉会(あいさつ)〔田村副委員長〕

今日は施設の建設地を絞ることができた。今後は内容や配置について検討していく。細長く面白い形状で、様々な可能性があるのではないかと思う